

# 日本伝熱学会 関西支部 第30期第3回講演討論会 日本伝熱学会 カーボンニュートラル技術研究会 第3回研究会 のお知らせ

日本伝熱学会関西支部 第30期第3回講演討論会および日本伝熱学会カーボンニュートラル技術研究会第3回研究会を下記の要領で対面開催いたします。奮ってご参加ください。

日時：2023年12月1日（金）13:30～17:15

会場：神戸大学 瀧川記念学術交流会館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

(<https://www.kobe-u.ac.jp/info/outline/facilities/takigawa/index.html>)

## 伝熱学会関西支部 第30期第3回講演討論会

13:30～13:35 開会の挨拶

13:35～14:20 川上 理亮 氏（高砂熱学工業株式会社）

題目：排熱回収・利用の取り組み

概要：2050年のカーボンニュートラルに向けて、未利用熱利用、排熱・廃熱利用などによるサーマルマネジメントがこれまで以上に重要になっている。高温廃熱は発電・蒸気利用が推進されているが、低温廃熱（200℃以下）は発生場所における用途が限定されることから、大部分が捨てられているのが現状である。本発表では、建築設備の熱源における低温廃熱の時間的/空間的な活用方法、開発事例などを紹介する。

14:20～15:05 井上 和茂 氏（関西電力株式会社）

題目：産業用ヒートポンプの現状と課題

概要：脱炭素化を進めるうえで、電化が求められています。本講演では、産業ヒートポンプを中心にして、産業分野の電化の現状と課題について説明をします。産業電化を進めるべく、皆様方の理解と協力を頂ければと思います。

15:05～15:20 休憩

## 伝熱学会カーボンニュートラル技術研究会 第3回研究会

15:20~15:25 開会の挨拶

15:25~16:10 鎌田 俊光 氏 (三菱電機株式会社)

**題目:** 快適性と省エネ性の両立並びに冷媒規制強化に資するヒートポンプ空調機器の開発動向

**概要:** 空気調和は温度、湿度、清浄度、気流の四つの条件を、空間の用途や目的に合わせて適した状態に調整することである。ヒートポンプの活用で、より小さいエネルギー消費量での空気調和が可能となる。他方、エネルギー消費に加え、ヒートポンプに適用される冷媒の環境影響に対する市場要求が年々高まっている。今回、快適性と省エネ性の両立、並びに冷媒に対する規制強化に資する空気調和機器の開発動向につき発表する。

16:10~16:55 鷺野 公彰 氏 (大阪大学)

**題目:** 解像型および非解像型 CFD-DEM モデルによる固気液三相流のシミュレーション

**概要:** 固体粒子・気体・液体の混在する固気液三相流は、湿式造粒やスラリー混合など多くの産業プロセスにおいて見られる。近年の省エネルギーに対する関心の高まりに伴い、シミュレーションによるプロセスの理解や最適化に向けた取り組みが活発に行われてきている。本講演では、固気液三相流シミュレーションのための解像型および非解像型 CFD-DEM モデルの進展について紹介する。

16:55~17:15 写真撮影・閉会挨拶

17:30~ 意見交換会

会場：神戸大学 瀧川記念学術交流会館内 食堂

会費：3,500 円を予定

### 参加登録

ご参加いただける方は、下記サイトからご登録ください。

参加登録URL：<https://forms.office.com/r/3RRRZP35Z3>

登録〆切：11月24日(金)

サイトから登録いただけない場合や登録についてご質問ある方は、

廣川智己 (兵庫県立大学) <hirokawa@eng.u-hyogo.ac.jp>宛てにご連絡ください。